

薬生審査発 0226 第 2 号
薬生安発 0226 第 2 号
平成 28 年 2 月 26 日

公益社団法人日本医師会 会長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局審査管理課長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長
(公 印 省 略)

新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する
事前評価を受けた医薬品の適応外使用について

標記について、別添写しのとおり、各都道府県、保健所設置市、特別区衛生主管部（局）長宛て通知しましたので、御了知の上、貴会会員への周知方
よろしくお願いいたします。



薬生審査発 0226 第 1 号
薬生安発 0226 第 1 号
平成 28 年 2 月 26 日

各 〔 都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区 〕 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局審査管理課長
（ 公 印 省 略 ）

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長
（ 公 印 省 略 ）

新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する
事前評価を受けた医薬品の適応外使用について

薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品については、平成 22 年 8 月 30 日付け薬食審査発 0830 第 9 号・薬食安発 0830 第 1 号厚生労働省医薬食品局審査管理課長及び安全対策課長連名通知「薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について」（以下「連名通知」という。）にて各都道府県衛生主管部（局）長宛て通知しましたが、平成 28 年 2 月 26 日開催の薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会において、別添の医薬品について、医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議報告書に基づき、公知申請についての事前評価が行われ、公知申請を行っても差し支えないとされました。

つきましては、別添の医薬品について、連名通知における取扱いと同様の取扱いを行っていただきますよう、貴管下関係医療機関及び関係製造販売者に対する周知徹底及び御指導方よろしくお願いいたします。

1. 一般名：コルヒチン
 販売名：コルヒチン錠0.5mg「タカタ」
 会社名：高田製薬株式会社
 追記される予定の効能・効果：
 家族性地中海熱
 追記される予定の用法・用量：
 家族性地中海熱
 通常、成人には、コルヒチンとして1日0.5mgを1回又は2回に分けて経口投与する。
 なお、患者の状態により適宜増減するが、1日最大投与量は1.5mgまでとする。
 通常、小児には、コルヒチンとして1日0.01～0.02mg/kgを1回又は2回に分けて経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日最大投与量は0.03mg/kgまでとし、かつ成人の1日最大投与量を超えないこととする。
2. 一般名：バルガンシクロビル塩酸塩
 販売名：バリキサ錠450mg
 会社名：田辺三菱製薬株式会社
 追記される予定の効能・効果：
 臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制
 追記される予定の効能・効果に関連する使用上の注意：
 臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制の場合は、発症リスクの高い患者（サイトメガロウイルス抗体ドナー陽性/レシピエント陰性等）にのみ投与すること。
 追記される予定の用法・用量：
 臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制
 通常、成人にはバルガンシクロビルとして1回900mg（450mg錠2錠）を1日1回、食後に経口投与する。
 追記される予定の用法・用量に関連する使用上の注意：
 移植後早期より投与を開始し、投与期間は腎移植患者では200日まで、腎以外の臓器移植（造血幹細胞移植を除く）患者では100日までを目安とすること。
3. 一般名：カペシタビン
 販売名：ゼローダ錠300
 会社名：中外製薬株式会社
 追記される予定の効能・効果：
 直腸癌における補助化学療法
 追記される予定の用法・用量
 直腸癌における補助化学療法にはB法を使用する。直腸癌における補助化学療法で放射線照射と併用する場合にはD法を使用する。
- D法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後30分以内に1日2回、5日間連日経口投与し、その後2日間休薬する。これを繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

体表面積	1回用量
1.31m ² 未満	900mg
1.31m ² 以上1.64m ² 未満	1,200mg
1.64m ² 以上	1,500mg